



学校ホームページ

笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

6年生がやぶねり体験を行います！

コロナ感染防止のため、昨年、一昨年と中止となった「やぶねり」祭りが、本年度は、様々な感染対策を行いながら実施されることとなりました。それに伴い、土曜授業として以前から**6年生が行っていた「やぶねり体験」を本年度は実施**します。

6月25日(土)午前8時30分～午前11時過ぎまで、6年生が体育館と運動場で「やぶねり体験」を行います。**この日は、6年生のみ登校**します。

伝統の白塚「やぶねり」は、大きな災難や禍を乗り越える力強い生き方を子どもたちに教えてくれています。ここに、その意義もこめて、「やぶねり」について紹介してみたいと思います。

やぶねりって何？

やぶねり神事 津市無形民俗文化財に指定

(平成20年12月5日指定)

しらつかちょう つた
白塚町に伝わる「やぶねり」は、じもと やぐもじんしゃ さいれい
地元八雲神社の祭礼として、7
月10・11日に行われます。やぶねり神事は八雲神社の東側
のしんじ やくも じんじや ひがしがわ
集落の若者たちによって、むかし おこな
昔から行われてきました。その起源は、
きろく せいかく
記録がないため正確なところはわかりませんが、おそらく江戸
じだい おこな
時代ごろ(350年ほど前)には行われていたのではないかと言
い
つた やぐもじんしゃ かみさま
伝えられています。八雲神社の神様は、「スサノオノミコト」が
まつ
祀られています。「スサノオノミコト」は、「ヤマタノオロチ」を
たいじ かみさま ゆうめい
退治した神様として有名です。



「やぶねり」は、あおだけ なわ しば
青竹を縄で縛って「やぶ」を作り、その「やぶ」を練りまわすので「やぶねり」と言
われ
れます。「やぶ」は、しんわ
神話に出てくるヤマタノオロチに見立てられているといわれ、その中には津島神社
のあいちけん ふだ やつ くち ゆり はな
(愛知県)のお札とオロチの八つの口にみだてた百合の花のつぼみ八本が入っています。あおたけ
つく しらつか まち なか あば
で作ったやぶがヤマタノオロチとなって白塚の街の中を暴れまわります。「エンヤナッチャ」の掛け
ごえ わかもの ね びょうき
声とともに、若者たちがやぶを練りまわし、病氣やわざわいを「やぶ」
にふう こ
封じ込め、そのやぶをスサノオノミコトがたいじ
退治することで、しらつか むら
白塚の村が
むびょう そくさい
無病息災になるといわれています。退治されたヤマタノオロチは
あたま きた ほうこう む
頭を北の方向に向けられ、「イーカリヤ、イーカリヤ」のか こえ
掛け声とともに
うみ なが つしま じんじや もど
海に流され、津島神社まで戻っていくのだといわれています。



どうしてやぶねいをするの？



昔の白塚町は、漁業や農業を行い、生活に必要なものはぶつぶつ交換をしていた。大雨や台風などで飲み物が汚染され、病気や伝染病が広がっても、医者には診てもらえない貧しいところだった。昔の人は、そんな病気や災いを追い払うことと、豊漁・豊作を願って祭りを考えた。貧しかったので、身近にある竹を利用して「やぶ」を作り、神の力をお迎えする「神迎え」の古い信仰として代々受け継がれてきました。

どんなお祭りのなの？

7月10日を「宵の宮」11日を「やぶねり」と呼び、この両日を「ジンジ」と呼んでいる。10日は、各地区の青年団により毎年同じ場所に幟が立てられます。幟を立てる意味は、神様にここで祭りをするので多くの福をください。魔物を退治して下さいとの願いを神様に伝えること。幟の梵天を目印にして神様が天から降りてこられるようにとの思いが込められているとされています。白塚小学校の運動場にもものぼりが立ちます。

10日は、行燈・屋台提灯も飾られ、祭りの雰囲気をつくりまします。夕方になると、神社周辺の道路沿いに露店が並び、町民は夕食をすませた後、宮参りをし、祭りの安全などを祈念して帰宅します。11日は、早朝より青年団が青竹を大里方面に買い出しに行き、八雲神社で「やぶ」を作ります。「やぶ」は20人くらいで編みながら束ねて縛り、長さ18メートル太さ4センチ程度の頑丈なものになります。大蛇に似せた形となります。各地区2体合計6体つくりまします。

11日夜7時半ごろから三地区(山舗・中本町・旭町)30分の時間差を設けて「やぶねり」が始まります。「ヨイヨイヨイ」の掛け声とともに、先導提灯を持った青年が「デテカリヤ」(やぶの中のスサノオノミコトが神としての力を発揮して出ていきます)と唱えて通りへ出ていきます。「エーヤナツチャ」の掛け声で民家の通り道を練りまわり病気や災いを「やぶ」に封じ込めていきます。激しく練ることで、災いや病気を多く封じ込めることができるといわれています。「やぶ」を担ぎ、海へ運ぶ際には、「イーカリヤ、イーカリヤ、ゴンゲンサンノイーカリヤ」(「やぶ」の中の神様スサノオノミコトが津島神社へ帰ります)と掛け声をあげ、「やぶ」の頭部を北向きにして「ヨイヨイヨイ」と海に流し、「やぶねり」が終了します。

※本年度は、感染対策のため、「やぶねり」は11日の午後3時頃から午後6時頃に行う予定です。その他にも感染対策のため、変更になることもあります。

お知らせ

7月11日(月)は全校児童、給食後、午後1時30分ごろ下校となります。